

胃がん検診

胃がんは、我が国のがん脂肪の上位に位置していますが、胃がん検診は死亡率現減少効果があり、早期に発見するほど完治しやすくなります。早いうちに自覚症状が出ることは少ないので、定期的に検診することが早期発見・早期治療につながります。

健（検）診名	注 意 事 項
<p>胃がん検診 (胃エックス線検査) 対象：40歳以上</p>	<p>◎集団検診・個別検診、A B C検診との併用はできません。</p> <p>◎検査前日・当日は飲食の制限があります (検診当日は原則絶飲食ですが、錠剤の降圧薬に限り、少量の水で検査の2時間前くらいまでに服用しても構いません。服用した場合は、検診受付で申し出て下さい。</p> <p>◎個別検診希望の方は、予約を取られた際に医療機関の指示に従ってください</p> <p>◎80歳以上の方は誤嚥予防のため、個別検診を受けてください。</p> <p>【申込できない人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度胃内視鏡を受診された方 ・胃または十二指腸の病気の治療中または経過観察中の人 ・すでに症状がある方（医療機関を受診してください） ・妊娠中または妊娠の可能性のある人 ・バリウム製剤に対し、過敏症の既往歴がある人または飲み込みが困難な人 ・自力で立位を保持することや撮影台の手すりを自分で掴むことが困難な人
<p>胃がん検診 (胃内視鏡検査) 対象：50歳以上の方</p>	<p>◎個別検診のみです。胃X線検査、A B C検診との併用はできません。</p> <p>◎検査前日・当日・検査後の飲食・喫煙の制限があります</p> <p>◎予約を取られた際に医療機関の指示に従ってください。</p> <p>◎検診中に詳しい検査（生検）が行われた場合は、保険診療として別途請求があります。</p> <p>【申込できない人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度胃内視鏡を受診された方 ・妊娠中または妊娠の可能性のある方 ・胃全摘出術後の方 ・食道・胃の病気ので治療中または経過観察の方 ・のどや鼻の病気があり、内視鏡の挿入ができない方 ・明らかな出血傾向またはその疑いがある方 ・以下の方は、内視鏡受診にあたり、かかりつけ医にご相談の上、検診機関にお申し出ください <ul style="list-style-type: none"> ①心疾患や脳血管疾患等で、血液を固まりにくくする（血液サラサラ）の薬を服用中の方。 ②心臓病、高血圧、緑内障、前立腺肥大症、甲状腺機能亢進症、鼻の病気で治療中、または治療を受けたことがある方。
<p>A B C（胃がんリスク）検診 対象：40～74歳の方</p>	<p>◎ 胃A B C検診（胃がんリスク検診）は、ピロリ菌の有無と胃粘膜の萎縮の状態を調べる検査で、将来胃がんになりやすいかどうかを調べる採血検査です。判定結果により、胃内視鏡検査を受けて頂くことになります。胃がんかどうかを調べる“胃がん検診”ではないことにご注意ください。</p> <p>◎ 同じ年度にバリウム検査、内視鏡を受診される方は、受診できません。</p> <p>【申込できない人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃を切除されている方 ・現在銀杏の疾患で治療中の方 ・これまでにピロリ菌の除菌をしたことのある方 ・これまでに町の検診を利用し、A B C検診を受けたことのある方 ・腎不全や腎機能が低下していると診断されている方